

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公開番号】特開2004-179881(P2004-179881A)

【公開日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-024

【出願番号】特願2002-342536(P2002-342536)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 5/91

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/907

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月19日(2004.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

続いてCPU14は、撮像部10、信号処理部11及びA/D変換部12を介して得られたデジタルビデオ信号S3をデータ圧縮伸長部25に送出する。データ圧縮伸長部25は、CPU14の制御下において、通常の被写体確認時(すなわち動画撮影時)には、デジタルビデオ信号S3をフレーム単位でフレームメモリ26に順次書き込むと共に、デジタル/アナログ(D/A)変換部27を介して所定方式(例えばNTSC(National Television System Committee)方式等)のコンポジット信号S5に変換した後、これを液晶モニタ5に送出する。これにより液晶モニタ5の表示画面にコンポジット信号S5に基づく動画像が表示される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

またユーザがプログラムデータD5に基づくアプリケーションプログラムをインストールすると、当該アプリケーションプログラムが実行された際に、ディスプレイ画面上に所定のアプリケーション画面が表示されると共に、シーン名に応じた撮影状況(すなわちシチュエーション識別情報D6)ごとの画像ファイルが当該アプリケーション画面に関連付けられて表示される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

複数枚の画像数であるシーン表示欄M1～M5について、ユーザによるマウス操作がなされると、当該シーン表示欄M1～M5に含まれる全ての画像が所定サイズに縮小されたインデックス画像（図示せず）として一覧表示される。そしてユーザにより選択されたインデックス画像は、シーン名及び撮影枚数のみ表示された元のシーン表示欄に代えて表示することができるようになされている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0087】

一方、ユーザが所望のアプリケーションプログラムをインストールすると、当該アプリケーションプログラムが実行された際に、ディスプレイ画面上に所定のアプリケーション画面が表示されると共に、撮影状況ごとに画像ファイルが当該アプリケーション画面に関連付けられて表示される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】

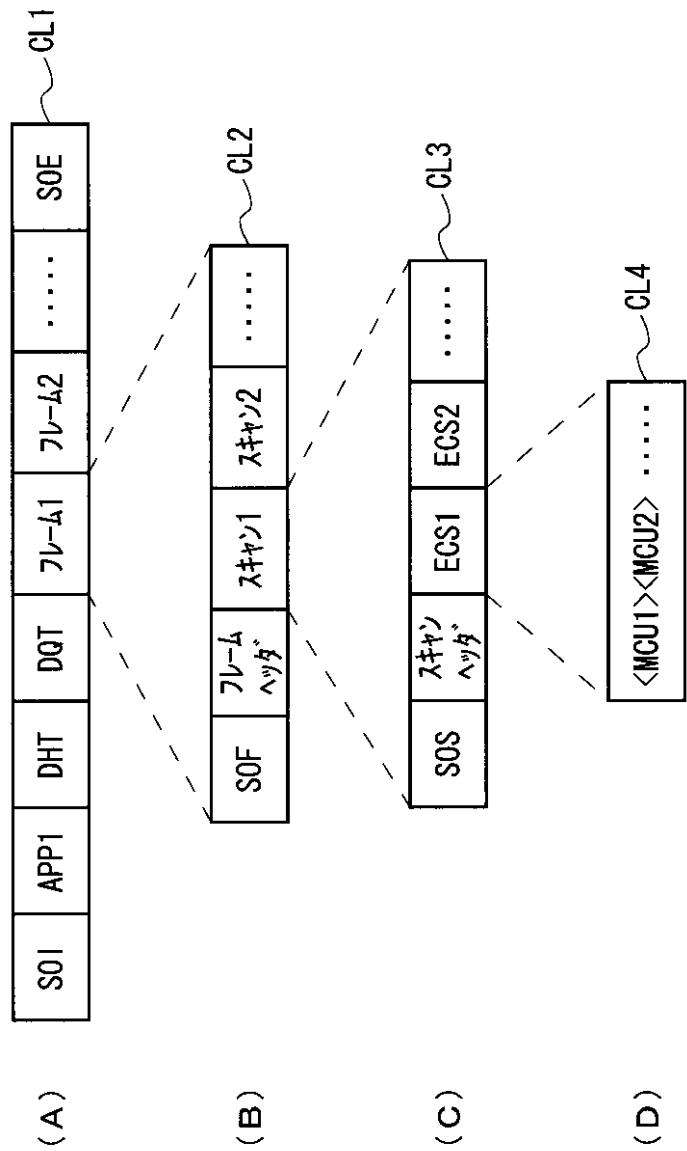


図4 画像データのデータフォーマット